

# くしろ木づなプロジェクト



全国有数の森林面積を持つ釧路市。その森林資源を有効活用するために林業関係者からエンドユーザーまで、地域全体がつながる取組を展開。

問合せ先 <https://www.city.kushiro.lg.jp/sangyou/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>  
TEL.0154-31-2552

## くしろ木づなプロジェクトとは

釧路市では平成22年に市内の林業・木材産業関係者、工務店、設計士、エンドユーザー、研究者、行政など木材供給側から需要側までの幅広い関係者による「釧路森林資源活用円卓会議」を立ち上げ、関係者の合意形成による林業・木材産業の振興を進めています。

円卓会議での協議をもとに、適切な森林管理と木材の利用拡大に向けた取組を「くしろ木づなプロジェクト」としました。森林資源の現状把握、高付加価値化に向けた加工技術の検討や新商品開発、地域材利活用を進めるための人材育成などを実施しています。

## 活動内容<木育>



写真左から釧路工業技術センター 瀧本 文一さん、釧路市農林課 神成 大輔さん、釧路市産業振興室 田戸岡 尚樹さん

[田戸岡]毎年、こども遊学館において木工教室を開催しています。円卓会議が材料の準備から当日の運営までいろいろなお手伝いをしています。秋には大人向けの木工教室、冬には親子向けの木工教室をやっております。大人向けには令和2年度にはミニツール作り、親子向けには4つの箱を詰め替えて色んな形にできてベン立てみたいな感じで使えるマルチスタンドを作りました。

[瀧本]地元のカラマツを使って、小学校の机の天板と椅子の座面・背もたれを交換したのが木づなプロジェクトの中では大きい仕事です。



小学校の机・椅子の板交換



釧路市役所防災庁舎の什器

木は明るくていいねという声が多いですよ



阿寒湖畔スキー場 ウォッチングハウス



音別町行政センター

## 活動内容<木質化>

[神成]釧路空港展望デッキにカラマツのベンチを置き、その後のメンテナンスも行っています。公共施設では、釧路市民球場の投球練習場、阿寒湖畔国設スキー場のウォッチングハウス、釧路市動物園のアルパカ舎を始め、釧路市音別町行政センターの1階受付フロアのデスクやチェアにカラマツを取り入れて整備をしたり、市の防災庁舎の壁や什器などにもカラマツを取り入れる取組をしています。

[瀧本]利用者からは「木は明るくていいね」という声が多いと思います。職員からも「とてもいいね、全部の施設でやればいいのに」とよく言われますが、予算の関係もあってなかなか(笑)。



小さな家づくり



小さな家づくり

## こども遊学館 木育教室



こども遊学館のままごとハウス

こども遊学館のままごとハウス



親子向けの木工教室(冬)



親子向けの木工教室(冬)



大人向けの木工教室(秋)



❖ 予算の話から、運営資金について

Q. 木育活動はまだ手弁当でやっている部分が多いですよね？個人の負担に頼るのではなく木工品を売って運営資金にすると、継続可能な仕組みができればいいと思うのですが。  
 [神成] そうなるのが理想です。ただ、現実にはなかなかそこにとり着くのが大変だということ、役所が入っていると「売ってお金を得る」という収入行為がしづらいのでそういう意味ではNPOですとかそういうところが運営できるようになると、もう少し柔軟に活動できるようになるのではないかと思います。  
 [田戸岡] 一般の方に木製品の良さがなかなか浸透しづらく

て、実際は手間も費用もかかっているのに、価格が高くなると売れなくなってしまいます。木製品の価値が認められて、もう少し売れやすくなってくるとそういった作業をされる方々にも還元されるようになるのかなと思います。  
 今はまだ、地元のカラマツなどを使った商品はあまり流通しておらず、手に入りにくいのですが、商品企画研究会の中で開発した木製品がもう少し普通に売られるようになり、皆さんの手に取ってもらえるようになればと思います。

工業技術センターと連携した活動

学校の天井取り替えのような大きな取組以外に、細かく色んな案件があり、建物が建つ時の家具の相談を受けたりもします。その際にもカラマツの導入を働きかけて、少しでも利用に繋がるようにしています。



ギョーカートは子どもたちに人気です！



ネームサインづくり

「道民森づくりの集い2021」に出展カラマツを材料にした楽器や遊具などを展示し、体験してもらいました。札幌での出展でしたが予想以上の反響で、用意していたネームサインは早々に品切れとなり、準備していた甲斐がありました。楽器や遊具の体験も、参加者に喜んでいただき、とても嬉しかったです。今後もこのような釧路の木や森を知ってもらえる機会を増やしたいと思います。特に釧路市は、森林の面積が道内3位、全国8位の面積を誇ります。木や森がたくさんあることを皆さんに伝えていきたいです。



カラクシー  
 (「カラマツ」+「クシロ」から命名したゲーム)

アイヌ文様のスリット・ドラム「トンコラム」

▲ 鉤型スマホスピーカー「かおん」



▲ KUSHIRO KIZUNA

▲ ネームサイン

くしろカラマツカーリング



❖ 木との関わり、思い

[神成] この仕事に携わるようになってから、木の良さを感じるようになって、その良さをどんどん広げていければと思います。木にはすごく可能性を感じます。可能性がある反面、課題も多くて、課題の解決ができればもっと普及ができるのではないかと思います。木の良さを活かせるように何とか皆さんの力を借りながらやっていければいいところですね。

[田戸岡] 私は大学で6年間林業を学んできて、今はこの仕事をしているんですが、なかなか木が使われていないという現状がありますし、林業の社会的地位がまだ低いと感じるところもあるので、林業がもっと一般の人に認められる産業になっていけばと思います。

[瀧本] 小中学校の技術の時間に木で何かを作った時に、木でいろんなものが作れそうだなと感じて、そこからずっと続いています(笑)。

